

2023年8月24日

明治安田アセットマネジメント株式会社

当社投資ポートフォリオの温室効果ガス排出量 ネット・ゼロ実現に向けた中間目標について

明治安田アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 西尾 友宏、以下「当社」）は、2023年1月、The Net Zero Asset Managers initiative（以下「NZAM」）に加盟しました^{※1}。NZAMは、2050年までに投資ポートフォリオの温室効果ガス（以下「GHG」）排出量のネット・ゼロ実現を目指す国際的なイニシアティブであり、加盟機関は、ネット・ゼロ実現に向けた中間目標を策定し、その達成に取り組んでいます。

今般、当社は、投資ポートフォリオの残高の52%^{※2}を対象に、カーボンフットプリント^{※3}を2030年までに2019年12月末比50%削減する旨の中間目標を策定しました。中間目標達成に向けては、「アセットオーナー等のお客さまと協働しながらネット・ゼロ実現を目指す」との考え方に立って、GHG排出量の多い投資先企業に対し、当社独自の「ESG対話」（*）等を通じてGHG排出量削減等を働きかけてまいります。

（*）当社の「ESG対話」は、投資先企業との間で毎年1回実施しているものであり、当社独自の「ESG対話シート」を用いて、ESG等の非財務面についての課題認識を投資先企業と共有し、その解決を働きかけています。「ESG対話シート」は、気候変動、廃棄物管理、生物多様性、人材戦略、サプライチェーンマネジメント、取締役会による監督の実効性等の重要なESG課題について、投資先企業の取組みを分析・記載し、作成したものです。気候変動に関しては、TCFD開示項目への取組状況、GHG排出量削減目標への取組状況、移行・物理リスクの緩和に向けた取組状況等について、分析・記載しています。

当社は、責任ある機関投資家として、気候変動を含むESG課題解決への取組みを通じて、投資先企業に企業価値向上や持続的成長を促し、お客さまの運用資産の中長期的な投資リターンの拡大を図ることによって、資本市場の健全な発展と、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりへの貢献に努めてまいります。

※1 詳細は、2023年3月3日当社プレスリリース「[「The Net Zero Asset Managers initiative」への加盟について](#)」をご参照ください。

※2 2022年12月31日時点。今回対象外とした運用資産は、ソブリン債等の現時点ではGHG排出量の算定方法が確立されていない資産で、今後算定が可能となったものから順次対象資産として追加することを検討する方針です。

※3 投資ポートフォリオの1単位あたりのGHG排出量（投資ポートフォリオの持ち分であるGHG排出量 [CO2換算トン] ÷ 投資ポートフォリオの時価評価額 [百万米ドル]）

以上